加　齢　医　科　学

1　担当教員名

【研究指導教授】　教授　　岩　﨑　　靖
【科目担当者】

2　教育目標

（1）　ねらい

1. 様々な神経疾患の臨床病理像を理解する。
2. 神経系の発生，発達，成熟，加齢に伴う形態学的変化を理解する。
3. 生理的加齢による脳・脊髄の病理学的変化と，神経変性疾患などによる病的な変化の指標を理解し，客観的に記述し，理解できる。
4. 神経変性疾患の病理を理解し，認知症の病態を理解できる。

（2）　学修の到達目標

① 様々な神経疾患の臨床病理像を説明できる。
② 神経系の発生，発達，成熟，加齢に伴う形態学的変化を説明できる。
③ 生理的な加齢による脳・脊髄の病理学的変化と，神経変性疾患などによる病的な変化の違いを指摘できる。
④ 認知症の原因や病態を説明できる。

3　授業内容

【講　義】	1. 神経変性疾患の病理学 2. 神経感染症，プリオン病の神経病理学 3. 認知症の神経病理学
【演　習】	1. 神経病理解剖を担当し，肉眼的所見の評価，組織学的所見の把握，診断を行い，臨床病理検討会で発表し，討論し，症例を総括してまとめる。 2. 神経変性疾患，認知症の診断を通じて，神経細胞の変性過程や異常蛋白の発現や分布を把握し，病態機序を考察する。
【実験研究】	タウやシヌクレイン，TDP-43，プリオンなどの主要な蛋白を，形態や分子生物学的特徴から分析して，組織学的手法を駆使して研究を発展させる。

4　成績評価の方法・基準

臨床病理検討会や加齢研の研究発表会での発表内容，課題のレポートにより神経病理学の基本的知識を習得しているかを評価する。

学術論文の内容が，方法論，結果の解釈や考察について科学的思考過程を習得しているかについて評価する。

5　教科書・参考図書

Neuropathology, A reference text of CNS Neuropathology David Ellison, Mosby, 2013

神経病理学の基本的事項から，疾患の解説まで遺伝子，分子病理学を交えて，豊富な図とともにわかりやすく解説されている。

6　準備学習（予習，復習等）及び必要な時間

準備学習（予習・復習等）には，30 時間を必要とする。

7　課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

神経病理学に関する論文作成を通して，神経病理学での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力，特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。

8　課題（試験・レポート等）に対するフィードバック方法

研究発表会での発表内容，課題のレポート，学術論文については個別に指導する。

9　履修上の留意点

特になし

10　オフィスアワー

職　名	氏　名	曜日	時 間 帯	場　　所	連絡先
教授	岩 﨑　　靖	火・水・木	9:00～17:00	5号館2階加齢医科学研究所	内線 12080